

大船：地名の由来にはいくつかの説がある。古くは「栗船」・「青船」とも。

常楽寺の山号、栗船山(ぞくせんざん)に因んだ説。常楽寺と名を改める前は、栗船御堂(あわふねみどう)ともよばれていた。

古くはこの辺りが入江になっていて、栗積み船が出入りして栗船と言われたという説。

湘南モルール：昭和45(1970)年大船・西鎌倉、昭和46年西鎌倉・湘南江の島間が開通。懸垂型 モルールの実用路線としては世界で始めて建造されたもの。路線距離:6.6km、8駅

梶原：梶は通常船の舵をいうが、この場合は梶の木の生えた原のことで、梶は楮(コウゾ)のことといわれる。郷内に梶原氏の祖先の居館があったと伝えられる。

【葛原岡神社】 (くずはらがおかじんじゃ)

源氏山公園の一部、葛原ガ岡自然公園の一角にある。元弘2(1332)年6月3日、日野俊基が倒幕の首謀者としてこの六本松の下で処刑された。明治21年(1888)に建立され、俊基を祀る。

*** 天柱峰：**浄智寺背後の山。標高97m。建武元年(1334)浄智寺住持となった中国僧、竺仙梵僊(ジクセンボンセン)が命名。天柱は世を支える道義の意で地維と対比。碑は昭和16年建立。

【浄智寺】 (臨済宗 円覚寺派)

鎌倉五山の四位に列せられる寺。弘安4年(1281)頃、執権北条時頼の三男宗政の菩提を弔い、宗政とその子師時を開基として宗政の妻が建立。現在の建物は関東大震災後に再建。曇華殿と呼ばれる仏殿には、本尊の三世仏坐像が祀られている。阿弥陀、釈迦、弥勒の三体からなる仏像は15世紀の作。過去、現在、未来を表す。“甘露ノ井”(鎌倉十井)・鎌倉七福神(布袋尊)

*** 鎌倉五山：**鎌倉時代に中国の五山制度にならって、鎌倉の禅寺に設けられた五大寺のこと。室町初期には鎌倉・京都それぞれに五山が定められた。その後たびたびの改定を経て、至徳3(1386)年足利義満のとき、五山の上に南禅寺がおかれ、京五山として天竜寺・相国寺・建仁寺・東福寺・万寿寺、鎌倉五山として建長寺・円覚寺・寿福寺・浄智寺・浄妙寺の五寺が定められた。